

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	リハビリテーションに関する領域	
科目名	生活支援のための運動学	
(1) 提供する研修について		
研修名	リーダー業務に従事し始めた介護福祉士を対象としたチームリーダー研修	
研修目標	<ul style="list-style-type: none"> 介護福祉士として生活支援に必要な運動生理を理解し、支援することができる力を育成する 	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 筋・骨・関節など運動器系や脳・脊髄・末梢神経など神経系の解剖・生理機能を理解し、支援に活用できる。 関節可動域や関節運動などヒトの基本的な動きについて理解し、支援に活用できる。 日常の諸動作の中で、身体各部の相互関係を理解し、支援に活用できる。 	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<ul style="list-style-type: none"> ○身体表面のランドマークの名称 ○骨、関節、筋、中枢神経、末梢神経などの解剖・生理 ○内部器官の運動時の生理 ○身体運動の基本的知識（関節可動域、筋力、運動の方向、動作） ○運動の基本的な力学的考え方（モーメントなど） ○摂食嚥下における解剖・運動生理 	<p>○通信研修により次の内容を学ぶ</p> <p>本科目の到達目標等の理解を前提として、テキスト等を活用した自己学習と、自己学習した内容をイーラーニングコンテンツで確認し、更に、その理解度をウェブ上で行う試験で確認するという形で行う</p> <p>○各項目の学習の流れは次のとおり</p> <p>(1) 第1段階</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目1（身体表面のランドマークの名称）、項目2（骨、関節、筋、中枢神経、末梢神経などの解剖・生理）、項目3（内部器官の運動時の生理）の自己学習（設定時間250分）。 ・当該範囲のイーラーニングコンテンツを活用した通信学習（50分）。 ・筆記試験（34問）。 <p>(2) 第2段階</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目4（身体運動の基本的知識（関節可動域、筋力、運動の方向、動作））、項目5（運動の基本的な力学的考え方（モーメントなど））の自己学習（設定時間100分）。 ・当該範囲のイーラーニングコンテンツを活用した通信学習（20分）。 ・筆記試験（15問）。 <p>(3) 第3段階</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目6（摂食嚥下における解剖・運動生理）の自己学習（設定時間25分）。

		<p>・当該範囲のイーラーニングコンテンツを活用した通信学習（5分）。</p> <p>・筆記試験（5問）。</p> <p>以上（自己学習 375分。イーラーニングコンテンツを活用した通信学習 75分。計 450分。筆記試験問題 計 54問。）</p> <p>（指定テキスト）</p> <p>・栢森良二著「学生のためのリハビリテーション医学概論第2版」医歯薬出版株式会社、2015.1</p>
研修方法	<input type="checkbox"/> 通学課程（集合研修） <input checked="" type="checkbox"/> 通信課程（通信研修）	イーラーニングコンテンツ及び推奨テキスト、webサイトを活用した自己学習で実施する。
研修時間	10時間	
修了要件	○修了評価として行う修了試験（54問）において、A～C評価（100点換算で60%以上）であること。D評価（59%以下）の場合は、再試験を行い、A～C評価とならなければならない。なお、再試験は複数回の受験を可能とする。	
講師要件（講師の選定基準）	<p>自己学習による研修とするため講師は配置しない。</p> <p>ただし、イーラーニングコンテンツ上で講師を務める者にあつては、次の要件に該当する者とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験があること ・修士課程を修了していることが望ましい ・日常業務で介護福祉士と共に働いた経験のあるリハビリテーション専門職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等）、または、リハビリテーション科専門医（大学講師以上）が望ましい 	
(2)受講者について		
受講対象（受講要件）	<p>以下の条件をすべて満たす者。</p> <p>①介護福祉士（介護福祉士ファーストステップ研修を修了した人（又は同等の研修履歴がある人）であることが望ましい）</p> <p>②介護職の小チーム（ユニット等、5～10名の介護職によるサービス提供チーム）のリーダー（ユニットリーダー等）や、初任者等の指導係に就いている人（リーダーとしての実務経験を概ね1～3年程度有することが望ましい）、サービス提供責任者、サービス管理責任者</p> <p>③介護老人福祉施設、介護老人保健施設、認知症グループホーム、訪問（居宅）介護事業所、障害者支援施設（旧身体障害者療護施設）等の従事者。</p>	
修了評価（習得度、研修成果）	修了試験（54問）により行い、100点換算で、100点～80点をA評価、79点～70点をB評価、69点～60点をC評価、59点以下をD評価とする。A～C評価（100点満点中60点以上）で修了とする。	

(3) 研修の環境条件	
定員（講師の配置基準）	20名
開催場所（都道府県）	自己学習による研修とするため開催場所は定めない。

(別紙 3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 平成30年12月～平成31年2月
	②
	③
開催場所 (会場)	① 自己学習による研修とするため会場は設定しない
	②
	③
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	自己学習による研修とするため講師は配置しない。 ただし、イーラーニングコンテンツ上では、次の者に講師をお願いすることとする
	川手信行氏 昭和大学医学部リハビリテーション医学講座 教授・医学博士 日本リハビリテーション医学会指導医/専門医、義肢装具適合判定医、健康スポーツ医、心臓リハビリテーション指導士 平成23年～24年「認定介護福祉士(仮称)の在り方に関する調査研究事業」作業部会委員(領域幹事) 平成29年度「介護福祉士の資格取得後のキャリアアップ及び専門性の高度化に関する調査研究事業」医療・リハ部会委員
	中村大介氏 昭和大学保健医療学部教授、博士(工学)、理学療法士専門分野 リハビリテーション科学、建築計画 日本理学療法士協会・日本建築学会所属 平成29年度「介護福祉士の資格取得後のキャリアアップ及び専門性の高度化に関する調査研究事業」医療・リハ部会委員
(3) 実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	生涯研修制度委員会
研修の企画運営に関する諸 規程	定款
研修管理責任者職名	生涯研修制度委員会委員長
研修管理責任者氏名	藤野裕子
機構問合先部署	公益社団法人日本介護福祉士会事務局
機構問合先担当者氏名	松下能万
機構問合先電話番号/FAX	03-3507-0784/03-3507-8810
機構問合先 e-mail アドレス	webmaster@jaccw.or.jp

受講問合せ先部署	公益社団法人日本介護福祉士会事務局
受講問合せ先担当者氏名	松下能万
受講問合せ先電話番号/FAX	03-3507-0784/03-3507-8810
受講問合せ先 e-mail アドレス	webmaster@jaccw.or.jp
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への単位付与部門	公益社団法人日本介護福祉士会事務局
受講履歴の管理方法	<ul style="list-style-type: none"> ○紙媒体及びデータによる台帳管理 ○外付けディスクにバックアップデータを保管する。 ○データ保存期間は 10 年間とし、その後は外付けディスクにてデータを保管する。 ○個人情報の取り扱いにあたっては、法律を遵守する。
受講履歴の証明	全課程を修了した者には、日本介護福祉士会会長名による修了証書を発行する。
管理責任者氏名	石本淳也
管理担当者氏名	松下能万